

令和 8 年度 宮城県連合小中学校教育研究会 第 1 回総会 議事録

日時：令和 8 年 5 月 25 日（月）午後 13：30

場所：南三陸町総合体育館（ベイサイドアリーナ）

参加者：宮城県連合小中学校教育研究会 会員

開会のあいさつ

宮城県連合中学校教育研究会 会長 櫻井 直人（南三陸町立志津川中学校長）

総 会

議長団として議長に櫻井 直人（中学校教育研究会長）、記録に小野寺順子（志津川中）が選出された。

報告協議

議長より報告協議に入ることが告げられ、事務局より、以下の事項について報告がありました。

- ・（1）申し合わせ事項について（資料 1-3 ページ）：役員選出方法、事務局、会議（年 2 回、会議の期間については「当面」との申し合わせのため再検討の必要あり）、各領域別研究会の運営（自主性、単年度決算）、経費（次年度からの経費は積み立て式もあり、事務局からの負担金、助成金は個別申請）、県教委講演申請・報告（今年度より各領域別・部会ごと）、研究大会案内、地区教育研究会の運営（自主性）、その他について説明。下線部が今年度からの変更部分。
- ・（2）令和 7 年度本部事業報告（資料 5 ページ）：総会研修会を 2 回実施（5 月：役員確認・情報交換、2 月：活動報告・次年度計画）。
- ・（3）地区領域別部会事業報告（資料 6-8）：小中学校各地区・各教科領域での研修会、講演会、研究大会、コンクール審査等の実施状況を報告。詳細は資料参照。
- ・（4）各研究会必要経費決算報告（資料 10-11 ページ）：各部会からの請求に基づいた研究事業費、大会参加費、郵送費等の決算と残額を報告。詳細は資料参照。

報告後、議長より質疑応答の時間が設けられましたが、特段の意見や質問はなかった。

- ・（1）令和 8 年度本部事業計画案（資料 12 ページ）：総会研修会を年 2 回実施予定（5 月 25 日：南三陸町総合体育館ベイサイドアリーナ、2 月 18 日：登米市立東和小学校）。
- ・（2）地区領域別部会事業計画案（資料 13-16 ページ）：小中学校各地区・各教科領域の事業計画案、県大会・東北大会・全国大会の担当について説明。
- ・（3）各領域部会の活動費と各地区の分担額（資料 17-18 ページ）：各部会からの請求に基づいた予算額と、地区ごとの会員数に応じた分担額を説明。
- ・（4）会計決算報告書の作成について（資料 19-20 ページ）：記入例に従い報告書を作成し、12 月 10 日までに東和小学校へ送付するよう依頼。中学校も同様に東和小に提出。

協議(1)～(4)までについて

- ・ P, 14 の事業計画の内容で大河原地区小学校と中学校の内容が同様のものが掲載されている。

⇒訂正をする。

- ・ 中学校理科部会より、P, 18 今年度予算が 68,000 円、昨年度と同額。総会で検討とされていたがどうなのか確認。

⇒一昨年度と昨年度は違う金額。R 7 年度と今年度が同様か今一度事務局で確認する旨の返答。

- ・ 本吉地方教育研究会事務局校より、P, 13-14 本吉地方教育研究会一斉研修日が 7 月 31 日（金）との掲載だが、実際は 8 月 3 日（月）に予定との訂正依頼あり。

- ・ 中学校国語部会長より、志津川中学校のホームページに宮連小中の連絡等の掲載について、宮城教育振興会への助成、学校用品協会への申請の仕方、会計報告の仕方等についてのホームページ掲載への要望あり。
- ・ 中学校道徳部会長より、P, 18 今年度の中学校道徳部会県大会は「中止」。次の開催は令和 11 年度を予定の報告。
- ・ 中学校理科部会より、P, 14 中学校理科部会の実施は 11 月中旬にオンデマンドにて開催予定の報告。
- ・ メディア情報部会、P, 14 小中学校ともに「なし」との報告。

事務局より(5)～(6)の報告

- ・ (5) 会則規定について(資料 21-24 ページ)：本来の会則や運営規則について説明。現在は申し合わせ事項に則り運営。
- ・ (6) 令和 8 年度の役員について(資料 25-30 ページ)：小中学校本部役員、理事、領域別研究部会長名簿を提示。
- ・ (7) その他 質問等なし。

その他

事務局より、以下の事項について報告

- ・ (1) 一般財団法人宮城県教育振興助成事業について(資料 31-32 ページ)：各研究会への助成金が計上されており、申請書(様式)は 32 ページにある旨を説明。
- ・ (2) 領域別県大会にかかる県教育委員会講演の一括申請について(資料 33-40 ページ)：領域別県大会にかかる一括申請については、1～5 までの書類が必要。提出書類と 12 月 8 日(火)締切日について説明。様式は県教委 HP 等からダウンロード可能。
- ・ (3) その他(資料 41 ページ)：本日の資料や議事録は後日、令和 7 年度宮連小中ホームページに掲載予定。

[質問]

- ・ 令和 7 年度 HP 掲載との説明があったが、昨年度のものになるのか。
⇒昨年度の HP と様式がかわらないため、そのまま活用していただく旨について説明。
- ・ 研究部会県大会等を実施しない場合は、研究部会費は返金になるのか。
⇒事務局はお金を扱う訳ではない。今年度分を次年度に積み上げる方法はある。部会費を使用しない場合はそのような運用の仕方もある。組織自体がお金を扱う訳ではないため、扱いは各部会での取り扱いになる旨を説明。
- ・ 仙台市は、事務局に返金しても可になっている。会自体は、あくまでも運用の仕方を検討する機関である旨を説明。
- ・ 例として、ある部会では 9 万円中、4 万円しか使わない場合、5 万円を翌年に使えた。使い切らずに翌年は必要な分のみを請求して活用。今年度から積み立てが可能ならば両方の動きができる。
- ・ 技術・家庭科部会長より、明日の県部会にて内容等が確定する。県の部会予算がいつ決まるかを出来るだけ早めに教えてほしい。

⇒昨年度の事務局に確認する旨を説明。

- ・領域別県大会に係る県教委後援の一括申請について、一括申請を省きたい場合は、どこに申請すべきか。

⇒県教育委員会教育総務課総務班に申請する旨を説明。

研修会

○小学校 大河原地区

- ・会員の不足により、一斉研究会の開催にあたり代議員会までに各地区の代表者が決まらない。新しい部長が決まってからつくる部分があるため負担が大きい。若い先生方が多くなっている。町教研の在り方を探る必要がある。

○小学校 仙台市

- ・会員数 2759 名、昨年度大幅な減少あり。例年夏に中学校と合同で開催していた教育文化講演会は今年度より「中止」予定。これまでの先生方のご協力に感謝。研修会が有意義なものとなるよう力を合わせて運営していきたい。

○小学校 仙台

- ・市町の教研がなくなっている。仙台地区は比較的会員数が多いが、部会によっては偏りがある。貴重な学びの場を今後も大切にしていきたい。

○小中学校 北部地区

- ・小中あわせて会員数 1300 名、5 月 1 日総会、10 月 30 日半日での一斉研修を開催予定。多いところで 100 名超え、少ないところで 30 名。事務局を担える中堅教員が少ないことが課題。

○小中学校 登米

- ・11 月部会ごとの一斉研修を予定。統廃合による会員数の減少。現状のままいくと部長の数が不足する可能性。次年度からは、すべての部会を小中合同で実施予定。部会 20～30 名、少ない部会は一桁。会の在り方を模索中。

○小中学校 本吉

- ・学校の再編が進み、令和 9～10 年度と複数校減少の予定。教研の会員数も激減しており、大河原地区の取組を参考に、次年度から全教員が 2 部会への所属、隔年での部会実施を検討。

○小中学校 石巻

- ・会員数は 1000 人ほど。部会の中では校長が部長ではないところもある。技術・家庭科の校長等の不在、道徳、書写など、部長の選出も難しくなっている。土日に開催の作品展の際の勤務について話題に出ている。

○中学校 大河原

- ・教科・教科外に分かれて所属する。隔年毎に教科や教科外と担当を別にして研修会を実施。学校再編が進んできている。予算の在り方についても模索。県大会があったら力を出し合いたいが、若手が外れる地区もある。

○中学校 仙台市

- ・2200名程の会員。年6回の教科研修会の実施。教育講演会の在り方を模索している。Webによる研修会、サイトによる交流等の実施。

○中学校 仙台

- ・6つの地区・都市に分かれての研究会。先日の総会では、大きな課題は出てこなかった。会則も随時見直しを図り、次年度にスムーズな体制で実施できるよう工夫。

○中学校 音楽部会

- ・11月13日（金）実施予定の東北音楽・宮城県音楽教育研究会に向けて準備を進めている。

○中学校 理科部会

- ・昨年度まで参集型。今年度はオンデマンド型による実施予定。持続可能な大会の在り方、予算の使い方、教員の学び方等、教員のブラッシュアップを図っていきたい。

○中学校 数学部会

- ・県大会、角田市にて開催。宮数研は、小中高大で4つの学校が集まり年3回研修会を予定。県大会以上の大会運営は宮数研が中心となり行っている。

○中学校 社会部会

- ・10月22日（木）大河原での県大会。県大会を実施する際に地理・歴史・公民の3本の授業提供。会員数の減少に伴う研修の難しさがあり、研究授業の数を絞るなど、持続可能な取り組みを模索。

○中学校 国語部会

- ・県大会はこれまで年1回実施、R8年度から事務局を2年続けて担当、2年に1回で開催する流れ。県弁論大会の事務局については毎年変更。東北国研、県小中高連絡協議会等、他の組織との兼ね合いによるうまい機能の仕方が課題。

○小学校 音楽部会

- ・仙台市11月13日（金）東北大会・宮城大会開催予定、毎年夏、音楽の研修会を実施。

○小学校 生活部会

- ・生活科、総合的な学習の時間協議会では、第35回全国大会の宮城・仙台市開催を予定、11月19日（木）全体会・講演会（会場：トークネットホール仙台市民会館）、20日（金）宮教大附属小学校と仙台市立市名坂小学校を会場に開催予定。当日、役員会での協力をいただき運営予定。

○小学校 算数部会

- ・今年度、角田大会10月22日（木）予定。昨年度の予算が残っている。前任の校長に確認していく。

○小学校 社会部会

- ・毎年地区毎の持ち回りで県大会を担当している。R8年度は仙台市担当（会場：名取市文化会館等）で実施。会員数の減少で年々運営が難しくなっている。R11年度の全国大会開催まで3年。それに向けて準備をしていきたい。

○小学校 国語部会

- ・昨年度、全国大会・宮城大会を仙台市で開催。作文宮城の冊子発行を中止、出版社の申し出あり。個人情報の取扱いの難しさがある。教員の研究意欲は持続させつつ、負担の軽減を図りながら研究会の継続を目指す。

○小学校 図工部会

- ・小中で一緒に研究。12月10日（木）本吉・登米地区県大会の予定。11月県造形教育作品展を幼小中、特別支援の合同で開催予定。県造形連盟の事務局校をこれまで中学校が担当してきたが、数年前から中学校で会長が立てない時もある。小学校長が持つなど、先のことを考えながら進めたい。

○小学校 家庭部会

- ・令和9年度予定の県大会とあわせた北海道・東北地区大会を予定。今年度より準備を進めていく。

○小学校 保体科

- ・県小学校体育実技研修会は登米市登米総合体育館を会場に予定。8月3日（月）の記載になっているが7月31日（金）に開催予定。

○小学校 外国語部会

- ・今年度から県大会の開催は「なし」。令和10年度東北大会を予定のため、小中合同で準備を進めていく。

○小学校 道徳部会

- ・北部地区大会、10月30日（金）会場：大崎市立鹿島台小学校に開催予定。

○中学校 美術部会

- ・第72回県造形教育研究大会本吉・登米地区大会が12月10日（木）リアス・アーク美術館を会場に予定。実践発表2つ、パネルディスカッションで1時間程度を予定。

○中学校 保体部会

- ・県学校体育研究協議会において、小中高合同による研究大会を11月5日（木）に開催予定。

○中学校 技術・家庭部会

- ・来年、東北大会を予定。今年度は東北大会に向けた準備を行うため、県大会の開催は行わず、研修会の開催を予定。東北大会では、技術、家庭、県の研究の3つをオンラインで配信する予定。

○中学校 英語部会

- ・県暗唱弁論大会、パトナホールを会場に9月30日（水）予定。今年度から県大会を実施しなくなる方向性を踏まえ、各地区の実践をどのように共有していくか模索中。

○中学校 書写部会

- ・小中合同での研修会。昨年度、会場の関係もあり県書きぞめ展覧会は「中止」。会場の確保が難しい。今年度アエルを会場に実施できるが、令和9年度アエルの改修工事が入る。令和8年度石巻、令和9年度東北大会を仙台市が担当。

○中学校 特別支援部会

- ・11月中旬に県大会を予定。小学校の先生方と協力しながら運営していく。持続可能な研修となるよう、センター研修も兼ねてオンデマンドでいくか検討。

○中学校 メディア情報部会

- ・仙台市の会員数は多いが郡市の会員数の減少のため、県大会等の開催の難しさが出ている。コロナ禍の時期を含めて仙台市が担当している。隔年開催について検討。令和7年度からメディア情報教育の名称で活動している。全国の放送教育連盟との絡みが強く、苦しいところもある。一人一台端末の方に研究を移行したいがNHKfor スクールとの絡みもあり課題が出てきている。教科や領域の枠をなくし、メディア情報教育部会と連携し実践していく方向。来年度、東北大会を予定。

○中学校 学校図書部会

- ・読書感想文コンクールと読書感想画コンクールの二つがある。昨年度まで、優秀な作品を掲載する作品集の発刊があったがこれまで通りの発刊は難しくなっている。6月の総会で最終決定していく。小中合同で発刊する方向でなくなる場合、小中合同での審査会の必要性がなくなるため、日程をずらすなども可能となる。昨年度より県大会は隔年の紙面開催で行っている。今年の県大会はなし。来年度以降は相談しながら進めていく。

○中学校 特別活動部会

- ・仙台市が担当で県研究大会を開催。授業、基調講演等を11月から12月にかけてオンデマンドで配信する予定。仙台市は部員数は大所帯だが、郡市は会員数が減少傾向。県大会の在り方そのものを検討する必要あり。

○中学校 道徳部会

- ・持ち回りでの県大会実施。小中合同での研究会を開催しているが、会員数の減少で運営が難しくなっている。県大会は東北大会がある時に実施。

○小学校 特別支援部会

- ・県大会を11月中旬にオンデマンドによる開催。内容は小・中・特別支援の話題提供による実践発表予定。毎年行う研究会の運営側の負担が一部に集中している。ローテーションや担当について明確化していく。

○小学校 メディア情報部会

- ・今年度、県大会は行わず来年度の東北大会・県大会に向けて準備していく。視聴覚やNHKの流れがあるが、データ利活用や生成AIの活用等、いい意味でメディア情報教育は間口が広がっている。研究会については大会運営を行うノウハウを学ぶ必要あり。

○小学校 図書部会

- ・学校図書館の県大会、東北大会ともに2年に一度の開催。東北大会には高校も入る。来年度からオンデマンドによる実施。昨年度は紙面発表による開催。今後も紙面開催で実施していく。小中において「読書のとびら」「読書のいずみ」の刊行。売り上げが伸びずあわせての刊行に。別冊にしたが売れ行きが伸びなかった。300部印刷した内、105部販売。195部残冊。本来、継続可能な販売部数は200～250部の売れ行きがほしいところ。岐路に立たされている。全国の学校図書館教育の枝葉で県SLA（全国学校図書館協議会・宮城県学校図書館協議会）と称した組織があり、R8・9年度小学校が担当し、読書感想文コンクール、読書感想画コンクール等のお世話をする予定。

○小学校 保健教育部会

- ・中学校の保健教育部会は活動を休止している。小学校が保健教育部会を中心に担当。構成員は主に養護教諭が行っている。活動は年1回発刊の研究集録の作成・発刊。県大会に準ずる大会は学校

医・学校歯科医・学校薬剤師等が所属する別組織・県学校保健委員会が実施。オンラインを活用しての県内7ブロックの部会長参加による幹事会を開催予定。学校数の変化に伴う会員数の減少が課題。7ブロックの養護教諭・部会長等の研究実践を事務局で集約したものを各校にデータ配信し活用してもらう予定。

○小学校 特別活動部会

- ・12月4日（金）仙台市立七郷小学校を会場に、東北大会・宮城大会 県大会仙台市大会を開催予定。1～6年生までの授業、内1本保健体育の授業のため保健部会とも協力を図っていく。実践発表は、各県と県内各地区をあわせて10本の実践発表を予定。文科省調査官：和久井伸彦先生を講師に御講話を頂戴する予定。年に一度しか回ってこない貴重な大会のため、ぜひ参加をしていただきたい。課題として、仙台市が一部会制度になったため、教頭が運営に携われない状況。運営を校長が中心に行っているため、次の東北大会が回ってくる際には、指導・助言等を含め経験のない教頭が運営に携わることになる。

〔議長より〕

- ・郡市の会員数の減少は大きな課題である。現実として、県大会、研究会の開催が紙面発表やオンデマンド開催、ホームページへの掲載等が増えてきている。いろいろな工夫を図り、情報を共有しながら、皆で知恵を出していきたい。何かあれば事務局までお願いいたします。

閉会のあいさつ

宮城県連合小学校教育研究会 会長 若生 利幸 （登米市立東和小校長）